自然科学類・理学部・理学系研究科における教育改革へのとりくみ 2015

これまでに行ってきた下記の６項目を今年度も継続して実施するとともに、その内容、実態、効果を検証し、教育レベルの向上を図っていく予定である。

(1) シラバスの整理とウェブ公開

・ 履修すべき科目群を学年毎／学期毎の時間割の形に整理して課程・学科・専攻ウェブサイトで公開し、科目名から各科目のシラバスにリンクをはる

→ 科目毎の内容、進度、受講生の理解度等の情報を教員間で共有し、連携をとりつつ教育を行う工夫の一つ

(2) 大学院博士前期課程の講義科目における科目再編成と試験実施の徹底

・ 大学院博士前期課程の開講科目を再編して専攻コア科目群を設定するとともに、ほぼ全ての講義科目に学域／学部と同様に試験を行って成績評価を実施

(3) ゲストプロフェッサーによる特別授業の単位化

・ 第一線の研究者を「ゲストプロフェッサー」として国外から毎年招聘し、各々約１ヶ月の滞在期間中に英語による特別授業、研究セミナー、個人及びグループ単位での英語による研究討論を行う科目を設置し、課程／学科、専攻の必修または選択必修科目として単位化している。

→ 研究科長裁量経費により H19 年度よりスタート
H20～22 年度文科省大学院 GP プログラムに採択
プログラム終了後も、独自予算により全学予算分とは別枠で招集を継続中

(4) 科学英語教育を専門とする教員による特別授業

・ 科学英語教育を専門とする教員による特別授業を実施し、課程／学科、専攻の必修科目として単位化している。

→ H20～22 年度文科省大学院 GP プログラムに採択
プログラム終了後も独自予算により継続中

(5) 学期ごとの単位修得状況の把握と保証人への連絡および学生に対する個別指導の実施

・ 在学生の単位修得状況を各学期ごとにチェックするとともに結果を保証人に郵送

・ 問題のある学生については教育運営委員と学生アドバイザーが連動して個別指導を実施

(6) カリキュラム単位での教科書情報の整理／新入生への教科書事前販売（前期必修科目）の実施

・ 教育運営委員、教務 G、生協書籍部が連動し、カリキュラム単位（課程・学類・学科・専攻）毎に使用教科書情報を整理して共有する体制を構築

・ 学類新入生が前期に履修する必修科目の教科書をオリエンテーション時に事前購入して予習する体制を確立

【参考】教育運営委員、教育推進課教務Ｇの担当スタッフ、課程／学科／専攻主任、各学年の学生アドバイザー、等が情報共有を緊密にして学生指導にあたり、各年度の担当委員交代の際には確実に業務の引継ぎを行うように努力している。